

小学校理科授業づくり リーフレット

児童の生活経験や既有的知識との矛盾を促す事象提示や発問

- ▶ 事物・現象同士を「比較する」ことで、差異点や共通点を基に、問題を見いだすことができるようにする。

予想や、予想が確かめられた際に得られる結果、実験の着眼点を考え、見通しを促す発問や思考ツール

- ▶ 思考ツール（例：キャンディ・チャート）を用いたり、発問したりして、生活経験や既習事項を「関係付けながら」予想や予想の理由を考える。
- ▶ 実験の着眼点や予想が確かめられた際に得られる結果を考える。

「理科の大事な学び方」を
視点にした振り返り

- ▶ 学習内容のまとめりに振り返る。
- ▶ 「今日の理科の大事な学び方は何ですか」

学習の振り返り

自然事象に対する気づき
問題の設定

問題解決の活動の充実を図る
教師の働きかけ

予想・仮説の設定

検証計画の立案

観察・実験の
実施

結果の整理

考察や結論の導出

既習事項や結果を関係付けながら、自然の事物・
現象や生活事象について考える板書

- ▶ 図を使った板書や、既習事項を整理した板書

差異点や共通点を考えたり、観察、実験の結果を複数の
側面から考えたりすることができる板書

- ▶ 思考ツールを用いた板書（例：Yチャート、ベン図）

より妥当な考えをつくりだすことを促す発問

- ▶ 「各班の結果を見て、どう思いますか」
- ▶ 「計画した実験方法や実験の仕方、見直しが必要なところはありますか」

今後の学習の
見通しを促す発問

- ▶ 「ここまでで分かったことや分からないことは何ですか」
- ▶ 「これからの学習で、はっきりさせたいことは何ですか」

観察、実験の結果を関係付けながら、
規則性などを考えることができる板書

- ▶ 例：時間経過による自然事象の変化が分かる板書

◆本リーフレットは、令和6年3月に岩手県立総合教育センターより刊行された「児童が自然の事物・現象についての問題を科学的に解決する授業の在り方に関する研究—問題解決の活動の充実を通して—」の研究の成果を基に作成した、教師の働きかけの一例です。各教師の働きかけの詳細は、右の二次元コードを読み取り、資料をご覧ください。

